

衆議院議員森本かずよし後援会

2012年新春のつどい



開催のお知らせ

日頃より、森本かずよしの活動に対するご理解ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。
森本かずよしは現在、財務金融委員会、決算行政監視委員会、東日本大震災復興特別委員会に所属し、党務としては政調会長補佐を務め、税制改革や国会事業仕分け、被災地復興などに全力で取り組んでおります。また、1期生だけの政策行動集団「礎会」を立ち上げ、活動しております。

つきましては、日頃より大変お世話になっております地元の皆様様に最近の活動のご報告と親睦を兼ねまして「2012年新春のつどい」を開催させていただきます。

時節柄ご多忙中とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご参加いただきますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

日時：平成24年 2月5日(日)

開場 11:30～ 開会 12:00～

場所：ホテル日航豊橋

豊橋市藤沢町141 TEL0532-48-3131

会費：5,000円



★どなたでもご参加いただけますが、準備の都合上1月20日までに当事務所までご連絡下さい。

★交通機関：豊橋駅西口 11:15 発のホテル直行のバスがあります。また、別途各地より送迎の乗り合わせバスも予定しておりますので、ご希望の方は事務局までお問い合わせください。

事務所通信

個人カンパのお願い

財政困窮につき、個人カンパを募集しております。

三菱東京UFJ銀行 豊橋支店 普通預金口座 5237880 森の会
豊橋信用金庫 本店営業部 普通預金口座 1216709 森の会



ボランティアのお願い

この「森のつどい」は、ボランティアのみなさんに発送作業、ポスティングをお願いしています。お時間のあるときに、お手伝いをしてくださる方を随時募集しています。お気軽に事務所をのぞいてください。よろしくお願ひします。

お気軽に
お立ち寄り下さい!

衆議院議員 森本かずよし事務所

豊橋事務所 〒440-0826 豊橋市大井町139 TEL(0532)63-6506 FAX(0532)63-6585

田原連絡所 TEL(0531)45-5857 FAX(0531)45-5858

info@morimoto-kazu.com www.morimoto-kazu.com

森本かずよし
後援会会報



森のつどい

2012年新春号

謹賀新年

2012年が始まりました。

昨年は、3月11日に発災した東日本大震災の復旧・復興、それに伴う福島原発事故への対応が急務でありました。また、世界経済の混迷とともに、急激な円高の下、産業空洞化が進み、日本経済の先行きが不透明さを増した、まさに国難の年ともいえる2011年でした。

毎年暮れに、今年はこの年だったということで、一年を象徴する漢字一字が選ばれることは有名です。2011年は「絆」(きずな)でした。大震災で、家族や友人とのつながり、地域の人々のみならず、日本人全てが助け合うこと、世界中の人たちが助け励ましあうことの大切さを私たちは改めて感じた一年でした。

私は毎年元旦に漢字一字で書初めをします。

今年は何んな年になるだろうか?今年はこの年にしたいという願いを込めて漢字一字を選びます。2012年は「礎」(いしずえ)を選びました。

復旧・復興を通じて新しい東北、日本の「礎」を築いていく年にしていきたい。社会保障と税の一体改革を国民の理解の下で進めていき、持続可能な日本社会の「礎」を築く年にしていきたい。

今年1期生17人でつくる「礎会」(いしずえのかい)が文字通り、日本の「礎」を築いていく年にしていくために、私は引き続き全力投球で活動してまいります。本年もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



衆議院議員

森本かずよし

お断り

公職選挙法によって、議員は皆様に年賀状を出すことが禁止されています。なにとぞご理解くださいますようお願い申し上げます。

森本かずよしプロフィール

- 1966年6月16日生まれ(45歳)
- 1989年 東京大学農学部農業経済学科卒業
東海銀行入行、(支店営業、イギリス研修、情報開発部、国際金融部など)
- 1994年 銀行を辞めてボランティアで政治活動開始
- 1996年 衆議院議員公設第一秘書
- 2000年 東海総合研究所入社、経営コンサルタント
- 2004年 衆議院議員公設第一秘書
- 2009年 第45回総選挙初当選。
- 現在、財務金融委員会、決算行政監視委員会、東日本大震災復興特別委員会に所属。
民主党政調会長補佐
民主党愛知県連災害対策プロジェクトチーム座長
妻・長男・長女の4人家族、向山校区在住。

ひとはみんなのために みんなはひとりのために ~最近の活動報告~

社会保障と税の一体改革

毎日長時間にわたる議論の結果、昨年12月29日に党の素案がまとまりました。私もその議論に参加して次のような意見を述べました。

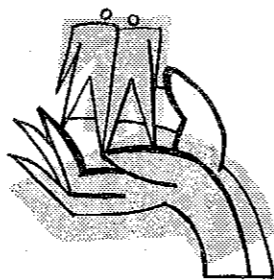
「税金というものは国家が権力を行使して国民からお金をもらうことだから、政府や国会は謙虚でなければならないと思う。そういう意味で、極力、税金は安い方がいいし、増税には反対だ。しかし、日本国の経営のためにどうしても税金が必要なんだということであれば仕方がないだろう。消費税引き上げが避けて通れないということなら、『せざるを得ない』であって、そもそも『すべきもの』ではない。」

「少子高齢化の進捗や団塊の世代の方々が支える側から支えられる側に回っていること、ずっと以前から社会保障費が毎年約1兆円も増えている現状からすると、持続可能な社会保障制度を構築するには財源確保は急務である。また、国際社会において、ギリシャに始まった国家財政の破たんによる経済危機はその他のヨーロッパの国々にも波及し、アメリカも厳しい状況であり、借金が約1千兆円にも上る日本の財政再建努力を世界が注視している状況である。そういうことをしっかりと国民に説明して理解を得る努力をしなければならない。」

「しかし、そういう説明をすると、必ず、でも、やるべきことをやっていないじゃないか、と言われる。我々が自らの身を切る『議員定数削減』、『国家公務員人件費削減』、もっと行政の無駄を排除する『行政改革』を先に実行してからでなければ、消費税引き上げは納得できないという声が本当に多い。私もこの点は、譲れない! また、(消費税引き上げによる)経済に対する影響を心配する声も多い。その点、経済成長に対する努力や配慮が足りないのではないか。」

毎日長時間にわたる議論を経て、2014年4月に8%、2015年10月に10%引き上げ、ただし、議員定数削減などの政治改革、行政改革の実行を先行して行い、経済、景気にも配慮することに素案としてまとまりました。

今後は与野党で協議の上、法案化していく予定ですが、完全ねじれ国会の下、野党との交渉はかなり厳しい状況と予想されます。いずれにせよ国民のみなさんのご理解と納得なくして進められません。納得されないものは実現できません。私も覚悟を決めて臨みたいと思っています。



12月26日、議員定数削減を実行するためには、議員立法も辞さないという決意の署名を衆議院1期生89名の賛同者を得て、樽床幹事長代行に提出しました。私は事務局長としてとりまとめさせていただきました。

防災・災害対策

国会では、

- ・「災害対策特別委員会」、「内閣委員会(⇒防災担当)」、「国土交通委員会」に所属し、大震災直後の対応に注力。
- ・内閣委員会では、原子力安全委員会に対し、SPEEDIの活用に問題があったのではないかと質疑。
- ・「東日本大震災復興特別委員会」に異動し、引き続き震災対応に注力。
- ・平野復興大臣に対して、復興庁設立に向けての質疑を実施。

地元では、

- ・県連の災害対策PTの座長就任。台風15号対応、東北被災地へのボランティア派遣等。
- ・愛知県や各港湾の防災対策・災害対策について連携。
- ・地元各地の関連要望に対して、前向きに取り組みました。



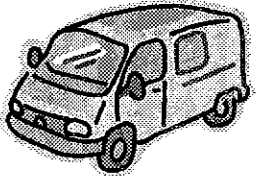
平成24年度税制改革

来年度の税制についての取り決めが政府税調と党税調の間で行われました。その前に、党内の意見取りまとめのために党税調総会が年末に連日開催されました。

私は、増税ばかり取り沙汰される中で、一つでも減税を勝ち取りたいという点、日本経済を支える自動車産業が急激な円高による海外移転などで産業空洞化が始まっているため、国内の雇用が守れなくなっている点、そもそも自動車取得税は消費税の二重取りのようなもので不公平であるという点などから、自動車関連諸税の廃止・見直しを強く主張し、党税調の後押しを行いました。

全て主張通りとはいかなかったのですが、次のような結果を得ることができました。

- ① 自動車重量税 1500億円分減税
- ② エコカー減税の3年間延長
- ③ エコカー補助金 3000億円

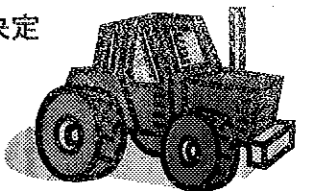


減税を勝ち取ることは何と難しいことか!と思いましたが、引き続き自動車関連諸税の撤廃・見直しは求めていきます。

農業

東三河の農業をより発展させていくために、

- ・豊川用水2期工事では、全国断トツでトップの平成24年度予算概算要求金額70億円獲得
- ・平成24年度税制改正案では、施設園芸に不可欠なA重油減免措置を引続き延長決定
- ・同じく、農業にかかわる軽油取引税の減免も引続き延長決定
- ・農産物輸出を国として応援するために、農産物輸出促進議員連盟発足、入会
- ・養豚議員連盟発足、事務局長就任。
- ・今年は、花卉産業を応援するために、フラワー議連(仮称)を設立予定。
- ・私も当時理事として、法案作成・成立に尽力したいいわゆる「農業の6次産業化」を本格的に推進し、東三河渥美半島を全国のモデルエリアにしていきます。その際、食品産業とも関連させながら進めてゆきます。
- ・あわせて、日照時間が長く、風が強く、バイオマス資源が豊富で再生可能エネルギーの潜在力の高いこの地域を、全国のモデルエリアとしていくために全力を尽くします。



インフラ

・名豊道路=R23号線は平成24年3月末で細谷まで開通、翌25年3月末で浜松方面全線開通となります。予算面では確保。

・三遠南信広域連携の屋台骨である三遠南信道路の着実な進展。三遠南信道路を南に延ばして、R23号線とつながる道路、浜松三ヶ日・豊橋道路の調査着手も求めています。

・三河港湾岸部の道路網整備。一部進展していますが、引続き、一層の整備を求めています。

・三河港神野地区国際物流ターミナル整備事業(7号)の新規事業採用を求めています。

今回は見送られてしまいました。大変残念です。引続き早期採用を求めています。

・豊川霞堤対策を始めとした洪水対策は一部対策が講ぜられましたが、今後の課題として取り組んで参ります。

・その他、たくさんの地元インフラ案件がありますが、県・市とも連携して、効率性を重視しながら、積極的に取り組んでいきます。

